



Vitec Report

第27期報告書

2013年4月1日～2014年3月31日

株主の皆様へ

株主のみなさまにおかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご理解とご支援を賜り、誠にありがたく厚くお礼申し上げます。

当社グループは、「デバイスビジネスと環境エネルギービジネスを通じて、豊かで暮らしやすい生活と地球にやさしい未来を創造する」という経営理念のもと、従来のエレクトロニクス商社から、商材・技術・情報を活用してビジネスをコーディネートする新たな機能を備えた価値創造商社の実現により、社会の発展に貢献してまいります。グループ総合力の向上を目指すべく革新的改革を行うとともに、発想の転換と「スピード」「ダイナミック」「ドラステック」を行動のキーワードに掲げ、グローバル展開の推進、企業価値の向上を実現してまいります。

今後とも一層のご指導とご鞭撻をたまわりますよう、心よりお願い申し上げます。

代表取締役会長兼社長 今野 邦廣

価値創造商社を実現し、世界の中で戦えるグローバル企業を目指してまいります

Electronics & Ecology

グローバル展開
日本→世界へ

高付加価値
モノ→知恵

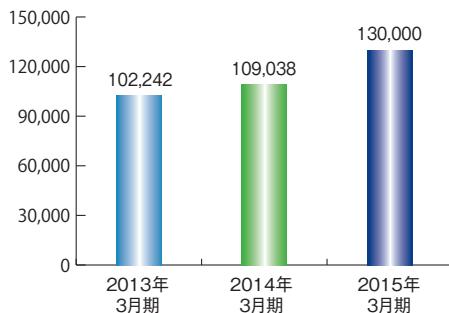
VITEC

連結業績推移

2014年3月期		2015年3月期予想	
売上高	109,038百万円 (前期比 6.6% ↑)	売上高	130,000百万円
経常利益	1,797百万円 (前期比 101.5% ↑)	経常利益	2,100百万円
純利益	1,301百万円 (前期比 108.3% ↑)	純利益	1,400百万円
1株当たり純利益	100円64銭 (前期比 88.4% ↑)	1株当たり純利益	100円04銭

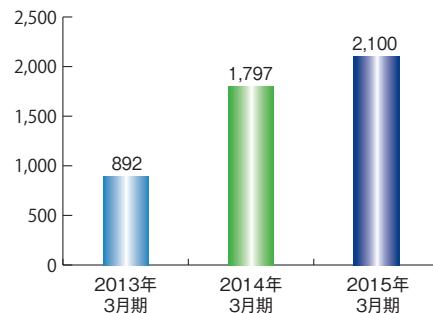
売上高

(百万円)



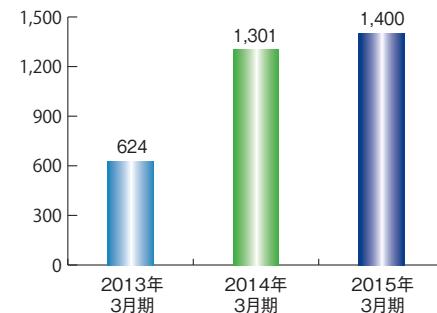
経常利益

(百万円)



当期純利益

(百万円)



当期の業績について

- ① メガソーラー向け太陽光パネルおよび売電収入が売上に寄与
- ② 車載向け半導体、多機能プリンタ向けCPU等が好調に推移
- ③ デジタルカメラ向けイメージセンサー/小型液晶パネルの売上が減少

今後の見通しについて

デバイスビジネス

顧客の拡大、商材の拡充
高付加価値ビジネス創造と利益率向上を推進
民生から産業機器へ

環境エネルギービジネス

再生可能エネルギー活用によるシステムインテグレーター基盤確立
PPS(特定規模電気事業者)事業拡大
環境エネルギー関連機器の販売拡大
自治体との取り組み強化

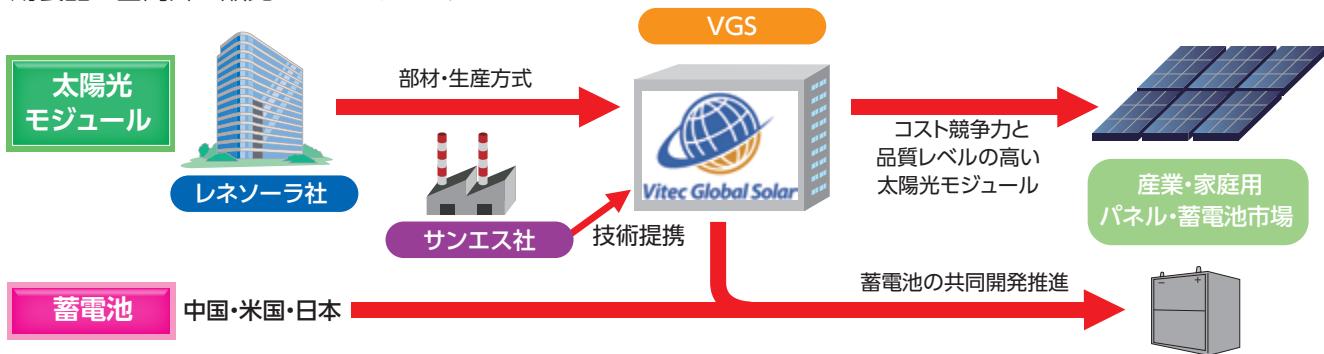
特集 バイテックの取り組み

成長エンジンの強化

グローバル/ソリューション事業への戦略投資

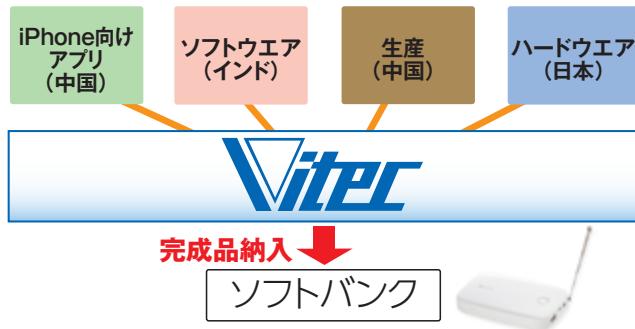
バイテックグローバルソーラー設立、レネソーラ社との協業

当社グループでは株式会社バイテックグローバルソーラー（以下VGS）を2014年2月に設立し、太陽光モジュール生産に参入いたしました。VGSは世界有数の太陽光モジュール/ウェハーメーカーであるレネソーラ社（中国）の部材と生産方式を導入し、株式会社サンエス（日本）との技術提携により、コスト競争力と品質に優れた太陽光モジュールを供給してまいります。2014年度に80MW（メガワット）相当の生産を計画しており、生産した太陽光モジュールは国内および海外で販売を予定しております。また、今後は太陽光モジュールに加えて蓄電池の共同開発を推進し、産業用・家庭用製品を国内外に販売してまいります。



ソフトバンク フルセグモジュール開発

バイテックは、ソフトバンクiOS (iPhone・iPad) 向けに、国内・海外パートナー企業と連携し、ポケットフルセグ (iOS向けフルセグTV視聴用チューナーモジュール) を開発しました (2014年3月14日から発売)。継続して新規製品の開発を行ってまいります。



環境エネルギー事業基盤強化

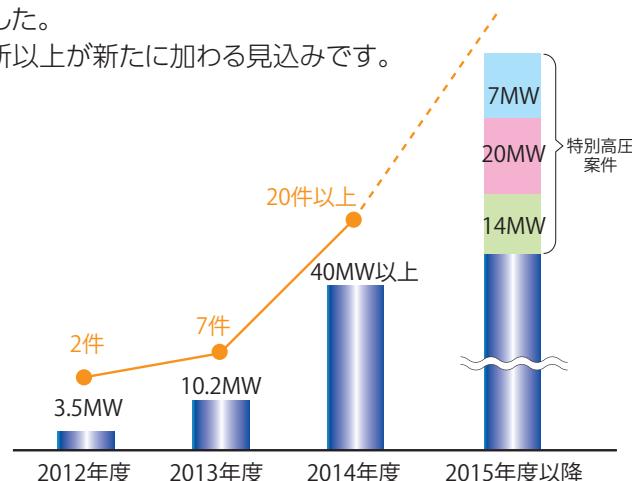
環境エネルギー事業では、2013年度中に当社が新たに建設したメガソーラーは7か所、2012年度の2か所と合わせると累計で9か所、合計出力13.7MW（発電定格出力）となりました。

2014年度には発電規模で40MW以上、発電所の数では20か所以上が新たに加わる見込みです。

（2014年5月現在）

トピックス

- ☞ 32地方自治体と再生可能エネルギー分野で取り組み拡大
- ☞ 栃木、岩手、兵庫の3県にて、メガソーラー（特別高圧7MW以上）の今年度着工を予定
- ☞ 栃木県がサポートする小水力発電への参入決定
- ☞ バイオマス発電への取り組み開始



デバイス事業の展開

顧客との関係強化

2014年4月より顧客密着型の組織に再編し、お客様のあらゆるニーズにお応えする体制を作るとともに、新規顧客の獲得にさらに力を入れ、民生中心から車載、産機、インフラへの積極展開を進めてまいります。

ラインナップの拡充

主要取引先であるソニー、NXPセミコンダクターズ、STマイクロエレクトロニクス、SK hynix、インテル、Samsungグループの取扱量拡大に向けた戦略強化、コネクタメーカー、モレックス社との取り組みを強化、上記以外の仕入先の商材拡充及び新規仕入先開拓を進め、ラインナップ強化を図ります。

高付加価値ビジネス創造と利益率向上

技術力の強化による新事業・新スキームの創出へ取り組み、あらゆるソリューション提供により、高付加価値ビジネスを創造してまいります。
計測機器販売では、ニッチマーケットへの機器販売強化、特にバイオ・医療・エネルギー分野でのニッチ・オンリーワン商品の開発、保守メンテナンス事業の積極展開等を推進し、利益率向上を図ります。

連結財務諸表(要約)

連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	前期末	当期末
	2013年3月31日現在	2014年3月31日現在
【資産の部】		
流動資産	27,358	33,383
固定資産	6,711	8,889
有形固定資産	5,014	7,162
無形固定資産	182	231
投資その他の資産	1,514	1,496
資産合計	34,069	42,273
【負債の部】		
流動負債	22,077	25,760
固定負債	2,671	4,512
負債合計	24,748	30,272
【純資産の部】		
株主資本	9,475	11,872
その他の包括利益累計額	△155	116
少数株主持分	0	11
純資産合計	9,320	12,000
負債純資産合計	34,069	42,273

連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	前期累計期間	当期累計期間
	自 2012年4月 1日 至 2013年3月31日	自 2013年4月 1日 至 2014年3月31日
売上高	102,242	109,038
売上原価	95,491	100,916
売上総利益	6,751	8,122
販売費及び一般管理費	5,828	6,341
営業利益	922	1,781
営業外収益	414	401
営業外費用	445	385
経常利益	892	1,797
特別利益	7	8
特別損失	11	-
税金等調整前当期純利益	887	1,806
法人税等	262	501
少数株主損益調整前当期純利益	624	1,305
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△0	3
当期純利益	624	1,301

連結株主資本等変動計算書 (自 2013年4月1日 至 2014年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本					その他の 包括利益 累計額	少数株主 持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計			
2013年4月1日残高	4,503	1,699	3,504	△231	9,475	△155	0	9,320
当期変動額								
新株の発行	740	740			1,480			1,480
剰余金の配当			△385		△385			△385
当期純利益			1,301		1,301			1,301
自己株式の取得				△0	△0			△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						272	10	283
当期変動額合計	740	740	916	△0	2,396	272	10	2,680
2014年3月31日残高	5,244	2,439	4,420	△231	11,872	116	11	12,000

連結包括利益計算書

(単位:百万円)

科目	前期累計期間	当期累計期間
	自 2012年4月 1日 至 2013年3月31日	自 2013年4月 1日 至 2014年3月31日
少数株主損益調整前当期純利益	624	1,305
その他の包括利益	244	272
その他有価証券評価差額金	5	33
繰延ヘッジ損益	△38	136
為替換算調整勘定	277	103
包括利益	868	1,578
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	869	1,574
少数株主に係る包括利益	△0	3

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	前期累計期間	当期累計期間
	自 2012年4月 1日 至 2013年3月31日	自 2013年4月 1日 至 2014年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	△830	△1,138
投資活動によるキャッシュ・フロー	△201	△370
財務活動によるキャッシュ・フロー	705	2,894
現金及び現金同等物に係る換算差額	△16	10
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△343	1,396
現金及び現金同等物の期首残高	1,605	1,262
現金及び現金同等物の期末残高	1,262	2,658

会社概要 (2014年3月末現在)

社 名 株式会社バイテック(VITEC CO., LTD.)
 本社所在地 東京都品川区東品川3丁目6番5号
 設 立 1987年4月1日
 資 本 金 52億4,423万円
 従 業 員 数 連結538名
 単体234名

役 員 (2014年6月25日現在)

代表取締役会長兼社長 今野 邦 廣
 代表取締役副社長 松本 章 治
 取締役 清木 正 信
 取締役 三坂 重 雄
 社外取締役 瀧本 和 男
 常勤監査役 石戸 基 康
 社外監査役 松山 遥
 社外監査役 金丸 和 弘
 社外監査役 早田 登喜大
 執行役員専務 松本 誓 之
 執行役員専務 黒田 敏 志
 執行役員常務 鈴木 俊 幸
 執行役員常務 稲葉 俊 彦
 執行役員 成瀬 達 一
 執行役員 小牧 修
 執行役員 佐々木 亮
 執行役員 金 永 暉
 執行役員 原 田 宜

株主の状況 (2014年3月末現在)

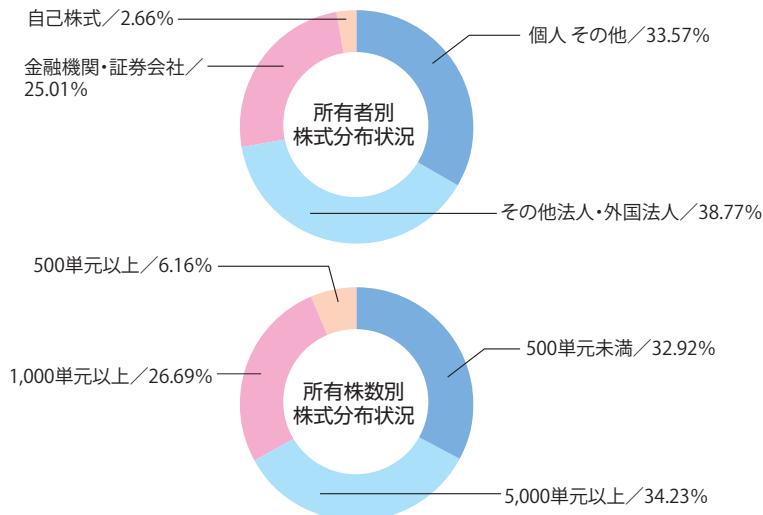
発行可能株式総数 …………… 28,200,000株
 発行済株式の総数 …………… 14,376,358株
 株主数 …………… 3,650名

■大株主の状況(上位10名)

大株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
株式会社ケイエムエフ	3,570	24.83
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託ソニー株008口 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社	717	4.98
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	633	4.40
ビーエヌワイエム エスエーエヌバイ ビーエヌワイエム クライアント アカウント エムピーシーエス ジャパン 常任代理人 株式会社三菱東京UFJ銀行	486	3.38
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	435	3.02
キヤノン電子株式会社	330	2.30
バイテック従業員持株会	330	2.30
株式会社みずほ銀行(常任代理人 資産管理サービス信託銀行株式会社)	321	2.23
株式会社三菱東京UFJ銀行	321	2.23
株式会社三井住友銀行	318	2.21

※当社は自己株式を382,457株を保有しておりますが、上記の大株主からは除いております。

■株式分布状況



株式Information

事業年度 毎年4月1日～翌年3月31日
剰余金の配当基準日 3月31日
(中間配当を行う場合は9月30日)

定時株主総会 毎年6月下旬
単元株式数 100株
公告方法 電子公告(<http://www.vitec.co.jp/>)
ただし、やむを得ない事由が生じたときは、
日本経済新聞に公告いたします。

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
郵便物送付先 〒137-8081 東京都江東区東砂7-10-11
同連絡先 TEL.0120-232-711 (通話料無料)

特別口座の口座管理機関 みずほ信託銀行株式会社
郵便物送付先 〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4
同連絡先 TEL.0120-288-324 (通話料無料)

各種お手続きのお取り扱いについて

1. 株主様の住所変更その他各種お手続きにつきましては、原則としてお取り引きをされている証券会社等での取り扱いとなります。
2. 特別口座の株式に関するお手続きにつきましては、みずほ信託銀行でのお取り扱いとなります。株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行ではお取り扱いできませんので、ご注意ください。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

ホームページのご案内

<http://www.vitec.co.jp/>



じょうほういちば
情報市場

情報市場(サービスサイト)を
開設いたしました。



情報市場は、エレクトロニクス・環境・グローバルをテーマに企業のニーズ・テクノロジー・ノウハウを結びつけ新たなビジネスを創造するオープンイノベーションサイトです。

<http://www.joho-ichiba.com/>